

ジェラルド F ダクス、一メソジスト教会、米国（パート4/4）

:

明: “The Cross and the Crescent (十字架と三日月)” の著者であり学者でもあるダクスの生い立ち、そして彼のハバド「ホリス」神学校での勉学によってキリスト教から目をました逸。パート4: “十字架から三日月へ。”

目: [事新改宗者ムスリムの逸者](#)と宗教的威

より: ジェラルド F ダクス

日 8 Apr 2011

集日 18 Apr 2011

1993年の3月となり、私と妻は中の5の旅をしんでいました。ちょうどそのときはムスリムたちが日の出から日没までを断食するイスラムのラマダン月でした。私たちはアメリカでムスリム家族たちと一緒に過ごすことが多かったため、どうせなら彼らと共に礼的 点から断食をしようと決めました。このを期に、私は中の新しいムスリムの友人たちと共にイスラムの定期礼を始しました。局、それらの礼にして反する理由は何も当たりませんでした。

私は少なくとも、自らをキリスト教徒であると自称していました。とどのつまり、私はキリスト教の家族に生まれ、キリスト教徒として育てられ、少年代には日曜日に教会と日曜学校に出席し、威ある神学校を卒し、巨大なプロテスタント治における、任命された宣教だったのです。しかしながら、同に私は三位一体とイエス（神の慈悲と祝福あれ）の神格性を信じないキリスト教徒でもありました。更に私はいかにバイブルが改されたものであるかを十分承知し、自分の慎重な言遣いによるイスラムの信仰宣言を唱え、ラマダン中に断食をし、一日5回の礼も行い、アメリカそして中におけるムスリムコミュニティで自ら目した生活模にととても好感を持っていたのです。（私が

中で、した道や理の をここですべて表すのは、空的にとても理です。)もし私がムスリムであるかをねられたら、上の事を5分はって、には答えないままにすることが出来ました。私は知的な言 びをしており、それに成功していたのです。

私たちの中 旅行も に入っていました。私は英を全く さない老人の友と、ヨルダンのアンマン郊外にある 困地域の曲がりくねった小さな道を散 していました。散 の途中、向かい方面から の老人が近づき、「アッサラ ム アライクム」(あなたがたに神の平安がありますように)と挨拶しつつ、握手を求めてきました。そこには私たち3人の他にはも居らず、私はアラビア を せませんでしたし、私の友、そしてこの 知らぬ老人は英 を せませんでした。この老人は私を て ねました。「ムスリム？」

このとき、私は完全に逃げ がありませんでした。私は英 でしかコミュニケーションが取れませんでしたし、彼らはアラビア しか せないで、そこには言 びの余地がなかったのです。またそこには私の巧みな英会 によってその状 から救い出してくれる通 もいませんでした。私はその を理解出来なかったふりをするこも、それが明らかに え透いていただろうため出来ませんでした。突然にして、そして思いがけなく、私の 肢は か二つに られたのです：私には「ナアム」(はい)と言うか、もしくは「ラ 」(いいえ)と言うかのどちらか以外にはなかったのです。私は めなければなりません。そしてそれはまさにその瞬 だったのです。それほど なことでした。神に えあれ。私は「ナアム」と答えたのです。

その一言を することにより、これまでのすべての知的言 びは 去のものとなったのです。それによって同 に、私の宗教的自己 といった精神的 れ事もまた、 去のものとなりました。私はもう、奇妙で特殊なキリスト教徒ではなくなったのです。私はムスリムになったのです。神に称 あれ。私と33年 付き添った妻も、ほぼ同 にムスリムとなりました。

中 の旅からアメリカに ってまだそれほどの月日が っていないかった、私たちのイスラ ムへの改宗について を きたい、という人物から彼の家へ招待されました。彼は定年を迎えた元メソジスト教会宣教 であり、 去に数回ほど会 を交わしたことのある人物でした

。それまで、初期の 々な独立した原典からのバイブルの人工的な 成といった にして、表面上は したことがあったのですが、宗教に しての踏み んだ をしたことはありませんでした。私は彼が 々な神学教育を受けたこと、そして 日曜日に教会の 歌 で歌っていることを知っていました。

当初の私による反 は「お、来たか。」というものでした。しかし良き 人であること、そしてイスラ ムに して他者とすすんで会 することはムスリムにとっての です。そのため、私は翌日の夕食の招待を受け、それまでの24 の大半を、いかにしてこの男性の要求する にして最善の方法で答えることが出来るだろうかと熟考しました。 東の が来たので、私たちは彼の家へと しました。しばらく他 のない会 をした 、彼はついに私になぜムスリムになろうと 意したのかを ねました。私はこの を待ち えており、その答えは慎重に用意されたものでした。「あなたも神学教育によって承知されているように、ニケア公会 による 定には、多くの非宗教的要素が わっていました。」彼は直ちに 明快な言 によって私を遮りました。「あなたは遂に、多神教的要素に堪えられなくなったのですよね？」彼は私がムスリムになった理由を熟知しており、私の 断を批判したりはしなかったのです。彼自身もその年 と により「特殊なキリスト教徒」になりつつあったのですから。神が御望みであれば、今 彼は十字架から三日月への旅を えているでしょう。

アメリカでムスリムになるには、数々の 牲が求められます。いえ 、ムスリムとして生きるにはどこにおいても 牲が必要とされますが、それらの 牲はアメリカにおいて、アメリカ人改宗者らによってより 著なものとして感じられることでしょう。それらの 牲の一部は非常に想定可能なものであり、着用する衣服の 化、酒 、豚肉、利子取得などの完全な断 が げられます。また一方では想定が しいものもあります。例えば私たちとしかったあるキリスト教徒家族から「イエス キリストを 人的救世主とみなさない者との わり合いは持てない」と を断たれたことがあります。また、私の 数の同僚からは、私に しての 度を豹 されました。それが偶然であろうとなかろうと、私への 客の委 は 少し、 入が30%近く落ち みました。こういった想定が困 な 牲はときに受け入れ いものですが、それによる 返りとしてはほんの小さなことなのです。

イスラ ムを受け入れ、自らを神（至高なるかれに称 あれ）に服 させようと考えている人々には、何らかの 牲が待ち えていることでしょう。それらの多くは容易に想定でき、その他はびっくりするようなことや、想像すらしなかったことがあるかも知れません。それらの 牲が存在することは否定のしようがありませんし、私はそういった苦いにシュガ コ ティングしようとも思っていません。しかしそれらの 牲を に心配したりしてはなりません。つまるところ、これらの 牲はあなたが今思っていることよりも重要ではないのです。神が御望みであれば、これら 牲はあなたの っていた「神々」よりもとても安い 牲であることがお分かりになるはずでしょう。



Please note: The ordination certificate above was too large to scan in completely - the top line of text is missing, which says “Let It Be Known To All Men That”

注：上の任命 はスキャンするにあたって大きすぎたため、一番上の段落（“Let It Be Known To All Men That”）が け落ちています。

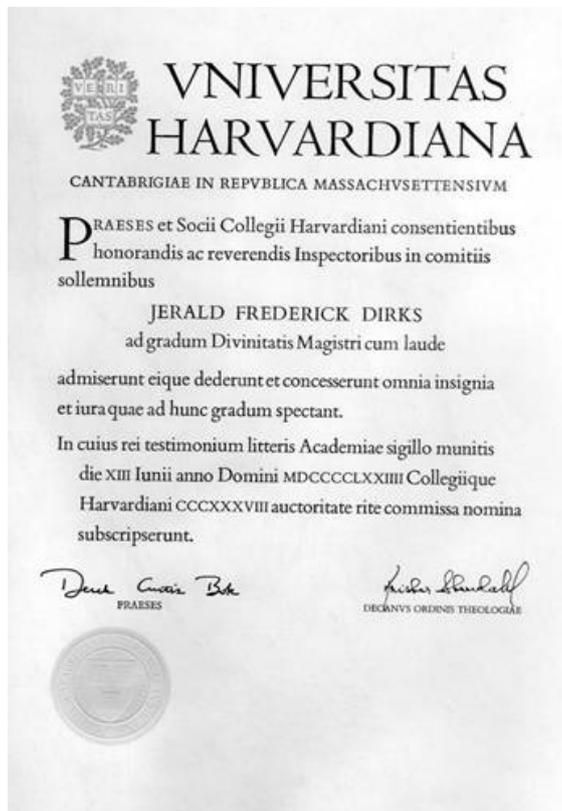
The United Methodist Church

License to Preach

This Certifies That Jerald Frederick Dirks
 having been duly recommended by the Charge Conference of
Moundridge Charge and having
 been examined, as The Book of Discipline directs, by the Committee on the Ministry of
 the Salina District
 of the Kansas West Annual Conference of
 The United Methodist Church is hereby authorized in accordance with the rules and regu-
 lations of The United Methodist Church to preach the gospel of Jesus Christ.
 September 15, 1962 C. M. Foyles, Jr.
Robert B. Jeffries

Renewal of License

Date	Conference	District	Signature of Licensee, Address Committee on the Ministry



His Web Page:

www.muslimsweekly.com/index.php?option=com_content&task=blogcategory&id=92&Itemid=93

彼のウェブサイトはこちら:

<http://www.dirksonlinebooks.com/>

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/74>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2024 IslamReligion.com. 断 を禁じます。